



第25回例会報告 *通算例会回数4095回目* (1月13日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【出席報告】

・会員数 55名
 ・当日出席率 76.00%
 ・出席数 38名
 ・前々回修正出席率 100%
 ・欠席数 17名

<欠席会員> 平田、神道、菅、小堀、楠橋、眞鍋、宮道、中村、西本、大澤、岡本、大河内

〔免除会員〕 青野(明)、檜垣(巧)、光藤、村上、渡辺(易)

<12/23 欠席補填> (12/20 今治北) 安藤、原、冠、木村、中村、尾越、岡本、米北 (12/27 今治北) 田崎
 (12/28 今治北) 平田、小堀、宮道

※今治南RCは1月18日(火)・1月25日(火)が休会となりました。

※今治北RCは1月24日(月)・1月31日(月)が休会となりました。

◇会長挨拶・

渋沢栄一氏の著書「論語と算盤」現代語訳を読みましたが、今から106年前に書かれたと思えない素晴らしいものでした。同氏について改めて紹介しますと、500社以上の会社の設立に関わり「日本資本主義の父」と呼ばれた人物であり、更に多くのボランティア活動を推進し、私財を投じて社会貢献に尽力され、同著でも「道德経済合一説」を説いています。この点、日本のRCの生みの親といわれる米山梅吉氏との共通点は多いと思います。両氏共、政治活動を嫌って経済活動に専念し、教育活動に特に力を入れた点で共通しており、米山氏が昭和2年著「新隠居論」の中で、「元老といわれる人は若い人に仕事を譲って、市町村学校等の公共事情の面倒を見てほしい」と記しており、この点でも晩年の渋沢氏の行動と合致しています。「論語と算盤」が書かれた4年後の1920年、米山氏は日本初のRCである東京RCを設立し、初代会長に就任します。東京RC設立時のメンバー構成を見ると、日本銀行、日本製麻、北海道炭鉱、日本郵船等、渋沢氏が日本を近代化する為に興した数々の企業を彷彿とする名立たる企業の経営者、幹部達です。世界大戦が終わり昭和の大恐慌を経験し、これからの日本の建て直しに必要な経営者達を集めており、アメリカのRI本部がこのメンバー構成を見て米山氏の力量の大きさに驚いたことでしょう。

◇幹事報告・

・2021-2022年度下半期年会費納入のご協力をお願い致します。請求書が必要な方は事務局までご連絡ください。
 ・今治1.17実行委員会主催『防災フェスティバル』募金ご協力のお願い致します。

◇広報・会報委員会より 今月のロータリーの友読みどころ紹介(河野会員)

・P14~17『2022年国際大会に参加するべき7つの理由』・P20,21『ローターアクター奮闘記 男子、生理用品を買う!?』・P29『ガイ散策 ロータリーの親睦』の3つの記事を紹介致しました。是非お読み頂けたらと思います。

◇親睦活動委員会より ゴルフ同好会の皆様へ・

・2021-22年度ゴルフ同好会下半期分会費の6,000円の集金を次回例会より行いますので、ご準備よろしくお願いたします。(※おつりの準備はしております。)

職業奉仕委員会アワー

◆青野淳一職業奉仕委員長

①職業奉仕について…設立当初のRCは心を開いて何でも相談出来る友人を得るための活動でしたが、その後、その親交を元に互惠取引をすればお互いの事業が発展するという発想が生まれ、初期RCの目的が会員相互の互惠取引、相互扶助と親睦を目的としたものになりました。この点、親睦を通じて信頼と信用を培い、安心して取引出来ることを大前提としたことが職業奉仕の始まりとなっています。

②自身の会社について

互助会とは、冠婚葬祭にかかる費用を会員同志で助け合うという組織で、毎月一定額の会費を支払い、冠婚葬祭の際の費用に充てるようになっていきます。同会は戦後の所得水準が低く、物資がなかった時代に出来たシステムで、結婚や葬儀にかかる出費に備えるために共同でお金を出し合い、助け合う相互扶助=互助の精神から創設され、現在に至っています。しかし、今の若者達の間では「互助会って何?」「結婚式もお葬式も色々な会場があるので、互助会に入る意味があるの?」という意識も強く、業界自体の見直しが迫られています。▼互助会会員を対象に、現在の入会状況等のお知らせと合わせて、年2回の会報誌『あいリン



ク』発行しており、冠婚葬祭に関する情報や他業種の方とのコラボ企画、そして様々な会員特典情報等が内容となっています。▼例年1月この時期は年間の3分の1の結婚式が行われる繁忙期ですが、コロナ禍の影響もあり結婚式は控え、フォトウェディングのみを選択される方が全国的にも急増しています。このような状況を踏まえ、冠婚葬祭の風習を廃れさせないとの思いもあり、イオン新都市内に〈冠婚葬祭の窓口〉を設置し、お客様に様々な情報を提供しております。

③社員教育について…サービス業とは『おもてなし・礼儀・思いやり』を基礎とするものだと思いますが、この点、東京ディズニーランドは『おもてなしの心』に溢れており、そこでの感動するエピソードを社員と共有することで、社員教育の一環としています。

1つのエピソードを紹介しますと、《ある若い夫婦がTDL内のレストランで「お子様ランチ」を注文しました。～以下中略、『東京ディズニーランド感動話』で検索してみてください。～このような行為は本来ならばマニュアル破りの規則違反ですが、先輩も同僚も彼の行動を咎めず、逆に彼の行為はディズニーランドでは賞賛され、その話を聞いた他のキャストを感動させました。》▼このようなエピソードを参考に、私も社員と感動を創作しながらお客様をお待ちしております。部下や後輩から『どうしたらいいですか？』と問われた時に指示だけを与えるのは簡単ですが、一呼吸おいて、『あなたはどうしたいですか？』と逆に問いかけることで、もう一歩先の自発的な行動が出来るようになると思います。

休会のお知らせ

臨時理事会にて協議の結果、

- 1月20日(木) : 米山記念奨学生卓話 … 休会
- 1月27日(木) : 社会奉仕委員会アワー … 休会

とさせていただきます。

2月以降の例会については、追ってご連絡させていただきます。